

1. キャンパス・アジア事業の概要

- 日中韓の政府・質保証機関・大学が協力して、大学の国際競争力を共に向上させるために**質の保証を伴った大学間交流を展開する事業**
- 2011年度より、3国共同の審査を経て選定された、10件のパイロット・プログラムを実施
- 2016年度より、17件のプログラム（うち、パイロットからの継続8件）を選定して本格実施
- 交流実績・計画（日本における派遣、受入数の合計）
 - ・2011年度～2017年度（実績） **派遣2,120名、受入2,226名**
 - ・2018年度～2020年度（計画） **派遣1,491名、受入1,459名**

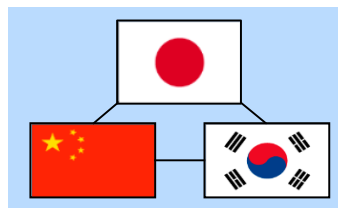


2. 経緯・予定

日中韓サミット

2009年10月 第2回日中韓サミット（中国・北京）

我が国より、3国間で質の高い大学間交流を行うことを提言、合意



日中韓大学間交流・連携推進会議

3か国間で質の保証を伴った大学間交流を推進するために必要な方策を審議する有識者会議

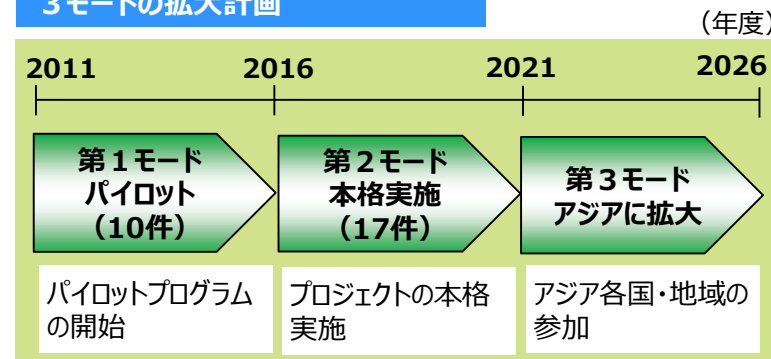
- 第1回 2010年4月（日本・東京） 構想の名称を「CAMPUS Asia*」（キャンパス・アジア）と定める
- 第2回 2010年12月（中国・北京） 単位互換や成績評価等に関する3国間のガイドラインに大筋合意
- 第3回 2011年5月（韓国・済州島） ガイドライン確定、パイロットプログラムの共同公募の方向性合意
- 第4回 2013年8月（日本・東京） 拡大の方向性合意、第1次モニタリングの枠組について合意
- 第5回 2015年4月（中国・上海） 第2次モニタリングの枠組合意、中長期的に連携の枠組をアジア各国・地域に拡大する方向で取り組む旨合意
- 第6回 2017年11月（韓国・ソウル） 第3次モニタリング計画合意、次回第3モードの議論を深める旨合意
- 第7回 2019年9月4～5日開催（日本・東京） 第3次モニタリングの進捗報告、第3モードの大枠合意

* Collective Action for Mobility Program of University Students in Asia

日中韓教育大臣会合

- 第1回 2016年1月（韓国・ソウル） 財政支援を拡大していく意思を表明
- 第2回 2018年3月（日本・東京） 継続的な推進を確認、アジア地域への拡大の実現可能性を議論することを確認
- 第3回 2019年予定（中国）

3モードの拡大計画



3. 今後に向けて

- キャンパス・アジアの持続可能な発展及び拡大 : 日中韓三国は、第2モード終了後も高等教育における流動性を促進するためのプログラム（第3モード）を継続する。第3モードではアジア各国・地域の参加を推奨する。第3モードの枠組の詳細について第8回会議で議論する
- キャンパス・アジアの質保証及びモニタリング : 共同モニタリングの実施結果（成功例及び課題）を踏まえて、キャンパス・アジアの今後の展望を検討する
- 共同政策研究及び交流活動の拡大 : 三国の高等教育システム及び学位の認証に係る共同研究を実施する。コンソーシアムや同窓生を対象に交流活動を拡大する